

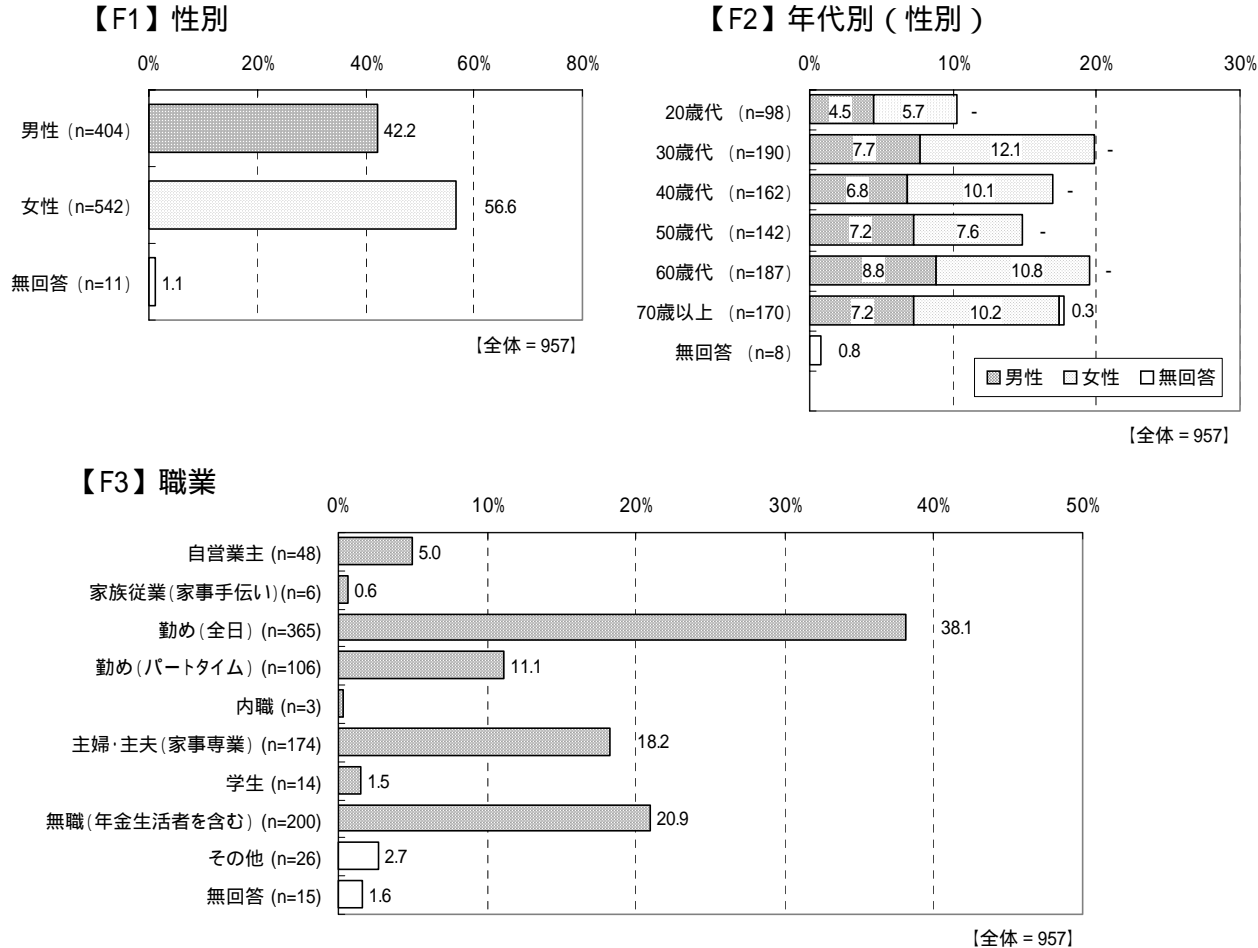
幸区区民アンケート調査 概要版

調査の概要

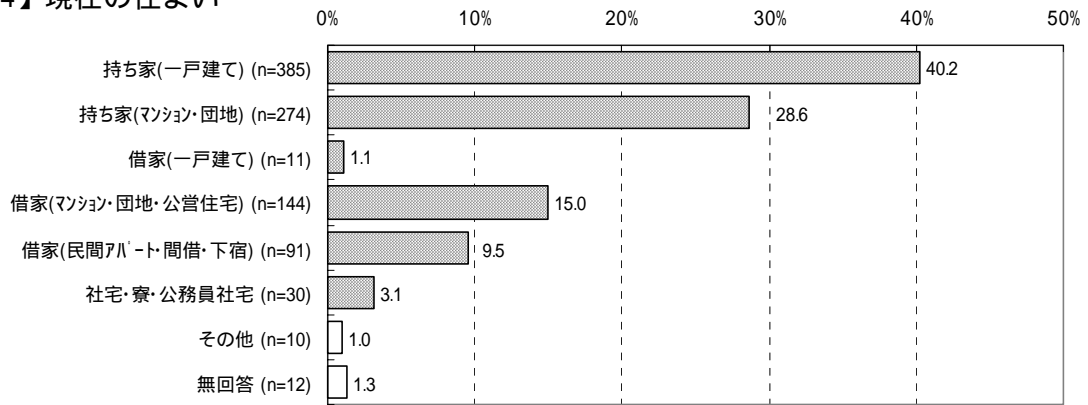
調査設計	調査対象	幸区在住の満 20 歳以上の男女個人(外国人を含む)	
	標本数	2000 標本	
	標本抽出	住民基本台帳及び外国人登録原票(平成 21 年 8 月 25 日現在)に基づく層化二段無作為抽出	
	調査方法	郵送配布 - 郵送回収法	
	調査期間	平成 21 年 9 月 29 日 ~ 10 月 20 日	
	有効回収数 有効回収率	957 標本 47.9%	
調査項目	幸区への愛着や住みやすさ等について 行動範囲などについて 行政の情報について 幸区役所や日吉出張所との関わりについて 幸区区民会議について	地域の活動や課題について 幸区地域福祉計画について 動物について 区政への評価と要望について	

図中における基数となるべき実数 (n) は回答者数を示している。また、本文中の「構成比 (%)」は小数点以下第 2 位を四捨五入していること、並びに複数回答によるものも含まれていることから、構成比の合計が 100% に満たない、あるいは上回る場合がある。

調査回答者の属性

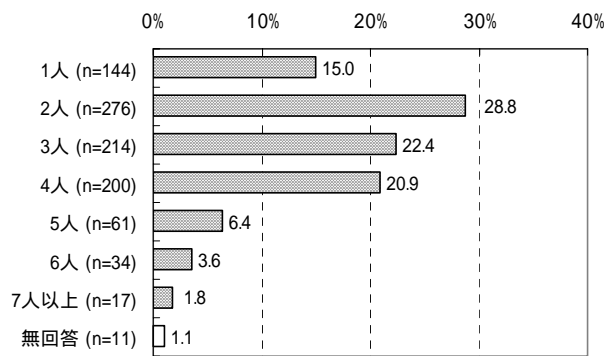


【F4】現在の住まい



【全体 = 957】

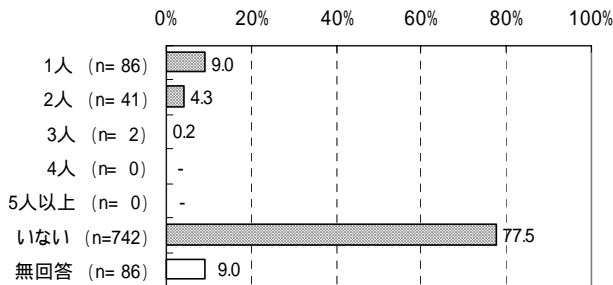
【F5】同居家族



【全体 = 957】

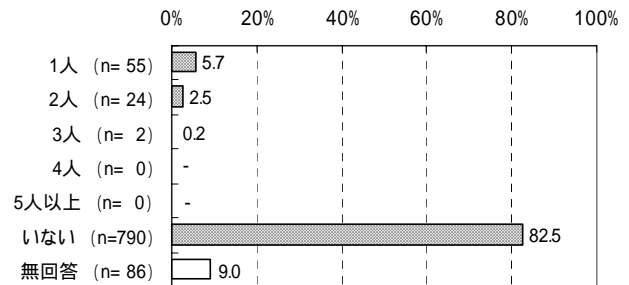
同居家族 1 人は独居者のこと

【F6-1】未就学児の家族



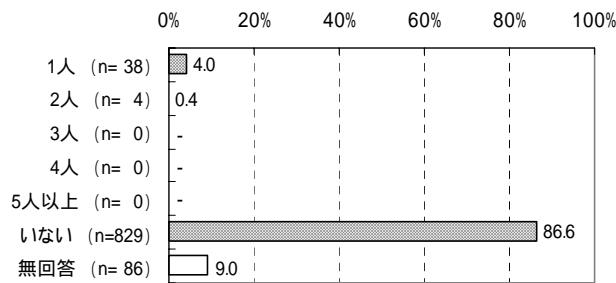
【全体 = 957】

【F6-2】小学生の家族



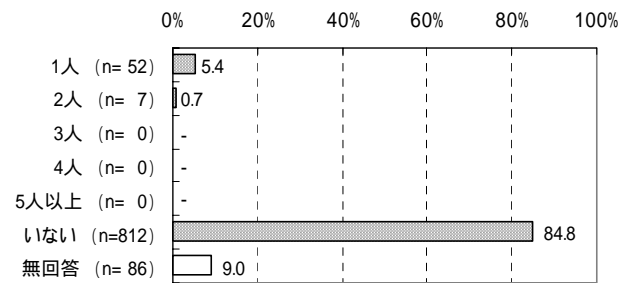
【全体 = 957】

【F6-3】中学生の家族



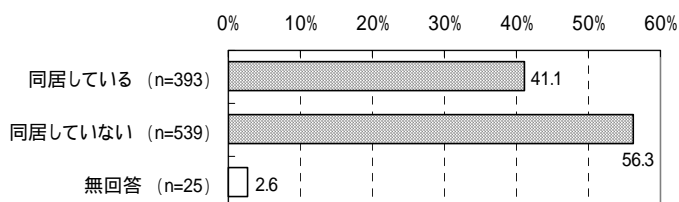
【全体 = 957】

【F6-4】高校生の家族



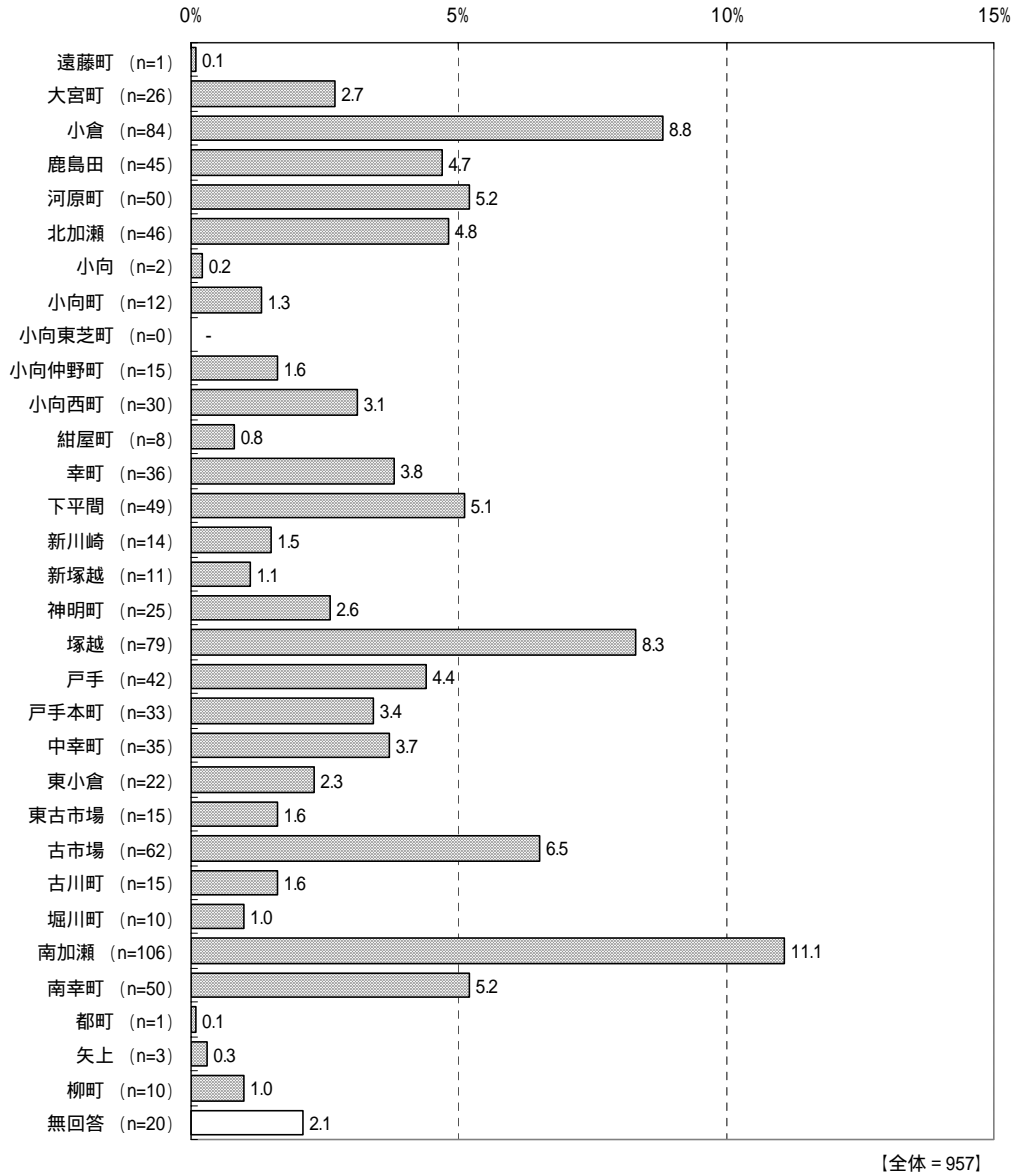
【全体 = 957】

【F7】65歳以上の家族

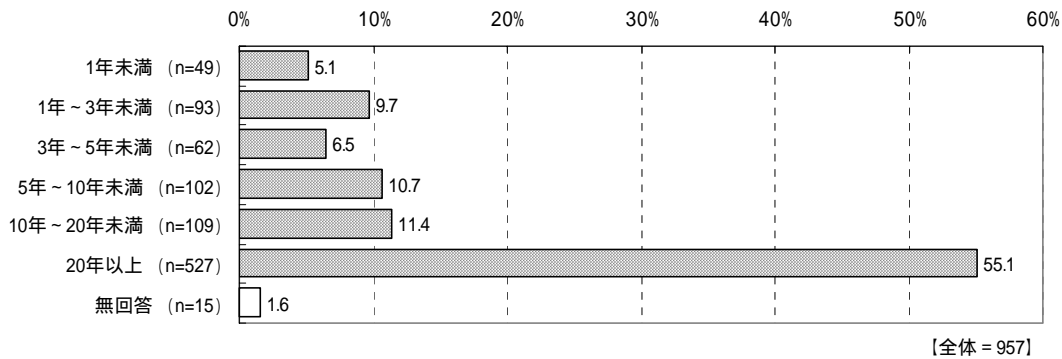


【全体 = 957】

【F8】居住地区



【F9】居住年数



1. 幸区への愛着や住みやすさ等について

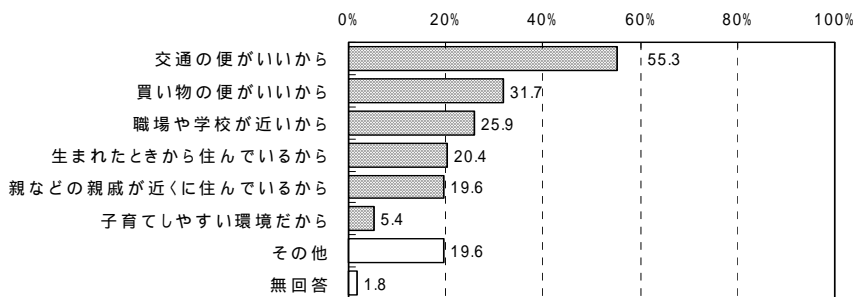
幸区にお住まいの理由として「交通の便がいいから」(55.3%)が50%を超えて高く、次いで「買い物の便がいいから」(31.7%)が続いている。

幸区の住みやすさについては、「住みやすい」が66.4%、「とても住みやすい」が18.1%と続き、合わせて84.5%の回答者が、住みやすい区と感じている。

また、今後も幸区内に「住み続けたい」とする回答者は80.1%と8割を超えた。

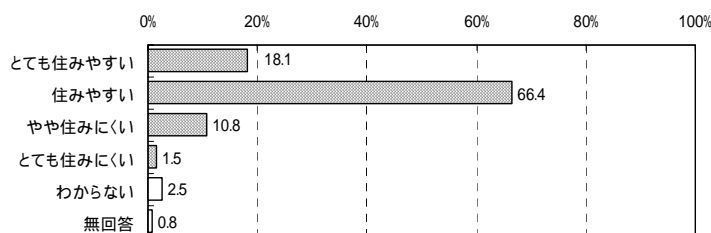
シンボルスポットとして紹介したい場所としては「ラゾーナ川崎プラザ」(71.1%)が最も高く、次いで「夢見ヶ崎動物公園」(42.1%)が続いている。

< 幸区にお住まいの理由 > (複数回答)



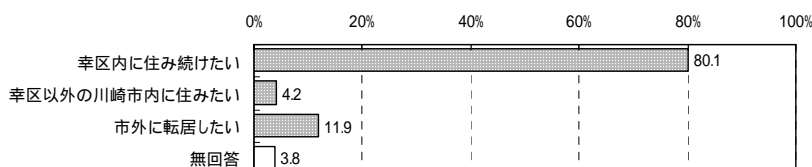
[全体 = 957]

< 幸区の住みよさ >



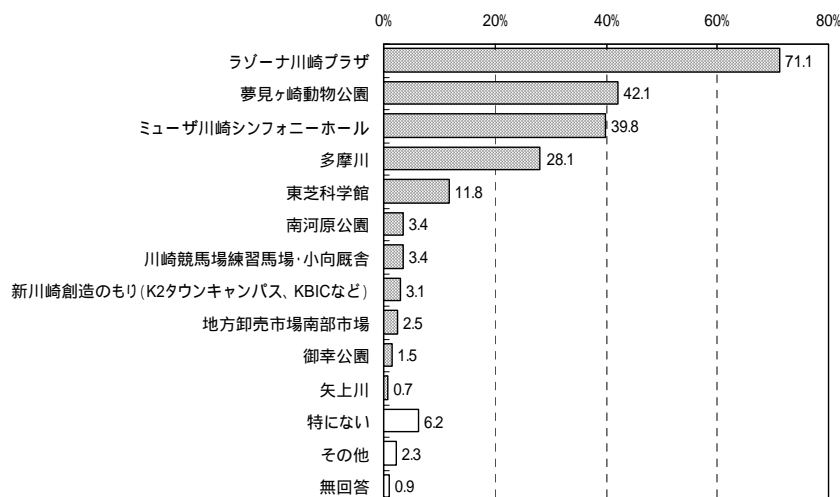
[全体 = 957]

< 幸区への居留意向 >



[全体 = 957]

< シンボルスポットとして紹介したい場所 > (複数回答)



[全体 = 957]

2. 行動範囲などについて

文化施設の利用・ショッピングをする時に行く場所では「観劇や映画鑑賞」を楽しむために「川崎周辺」へ行く（62.1%）が最も高く、「日常的な買い物」をするためには「幸区内」へ行く（54.6%）が最も高い。

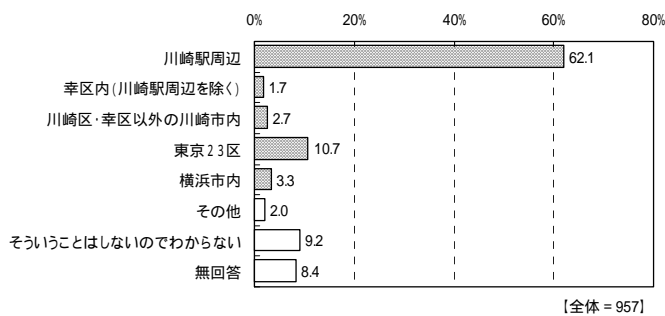
そのときの交通手段としては、「日常的な買い物」以外はどの項目も「公共交通機関」が高く、最も高かったのが「しゃれたものや高価なものを買うためのショッピング」（66.2%）で、「観劇や映画鑑賞」（60.5%）がそれに続いている。「日常的な買い物」は「徒歩・その他」（36.5%）が最も高く、「自転車」（35.6%）がそれに続いている。

日常的な買い物をする店舗では「大型小売店舗」が89.7%で最も高かった。

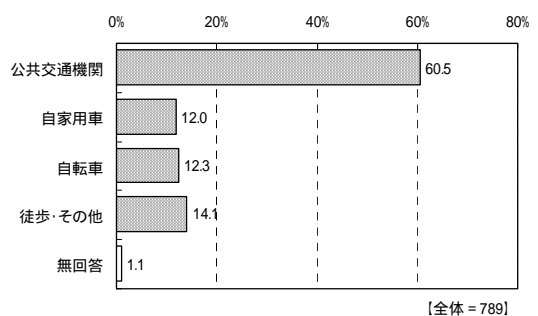
<文化施設の利用・ショッピングをする時に行く場所とその交通手段>

(ア) 観劇や映画鑑賞

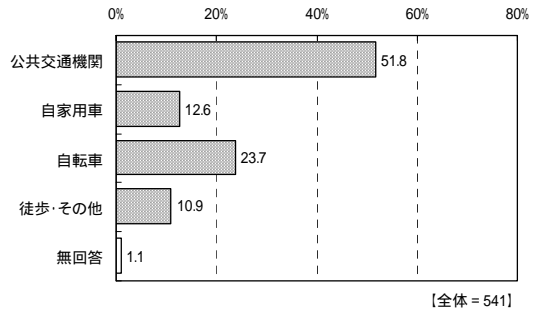
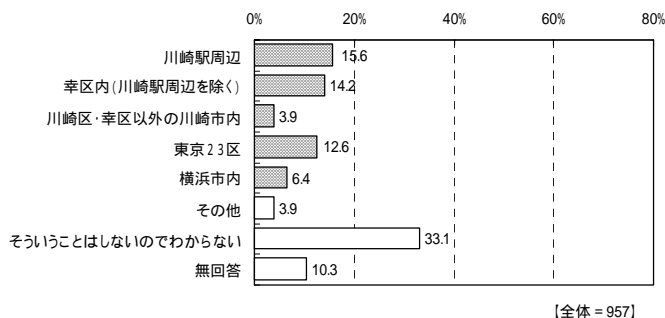
(場所)



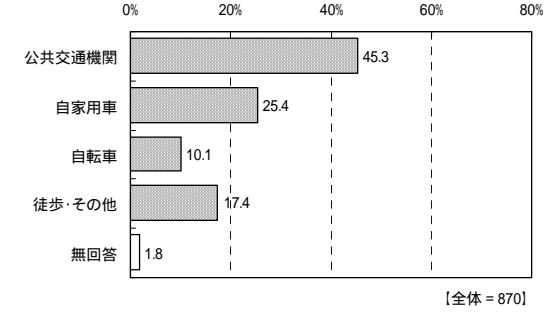
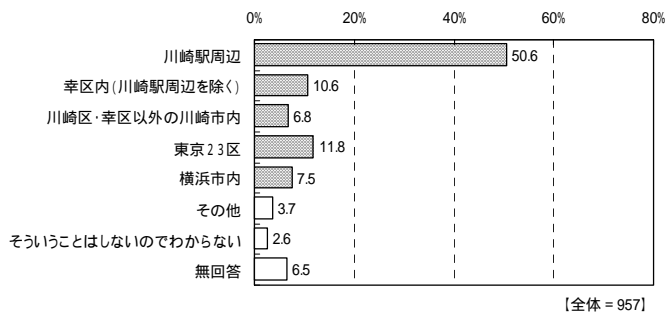
(交通手段)



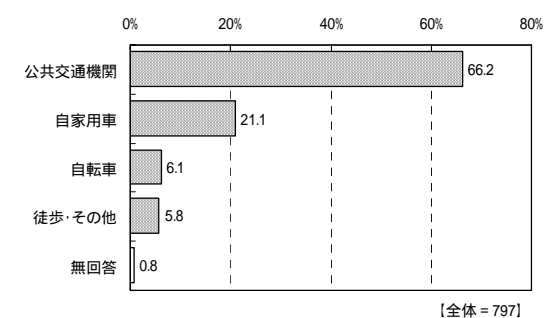
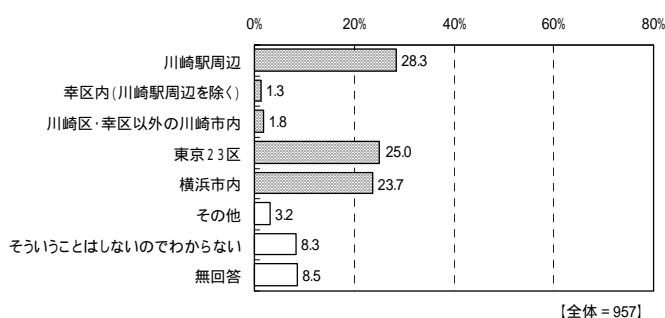
(イ) 趣味を生かす講習や練習



(ウ) レストランなどでの飲食

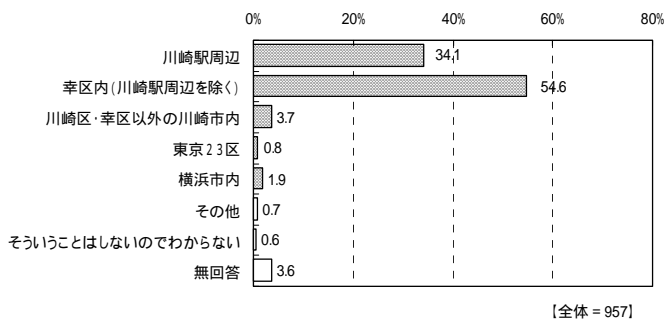


(エ) しゃれたものや高価なものを買うためのショッピング

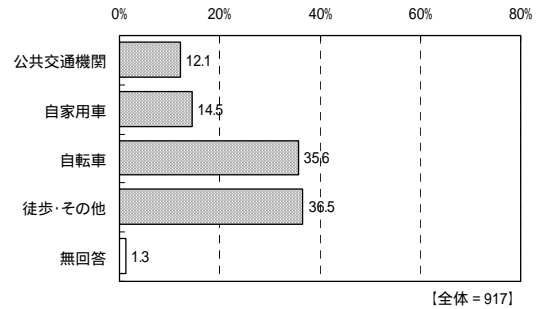


(オ) 日常的な買い物

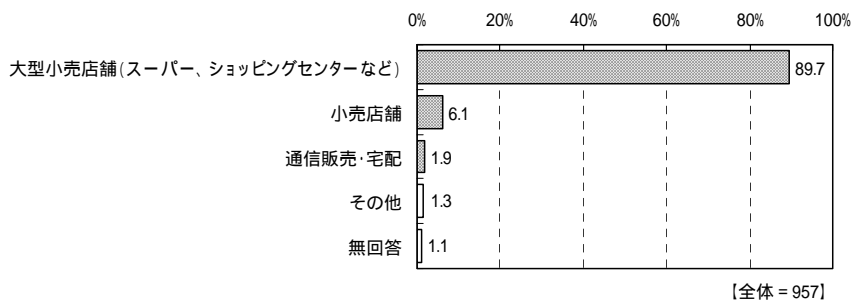
(場所)



(交通手段)



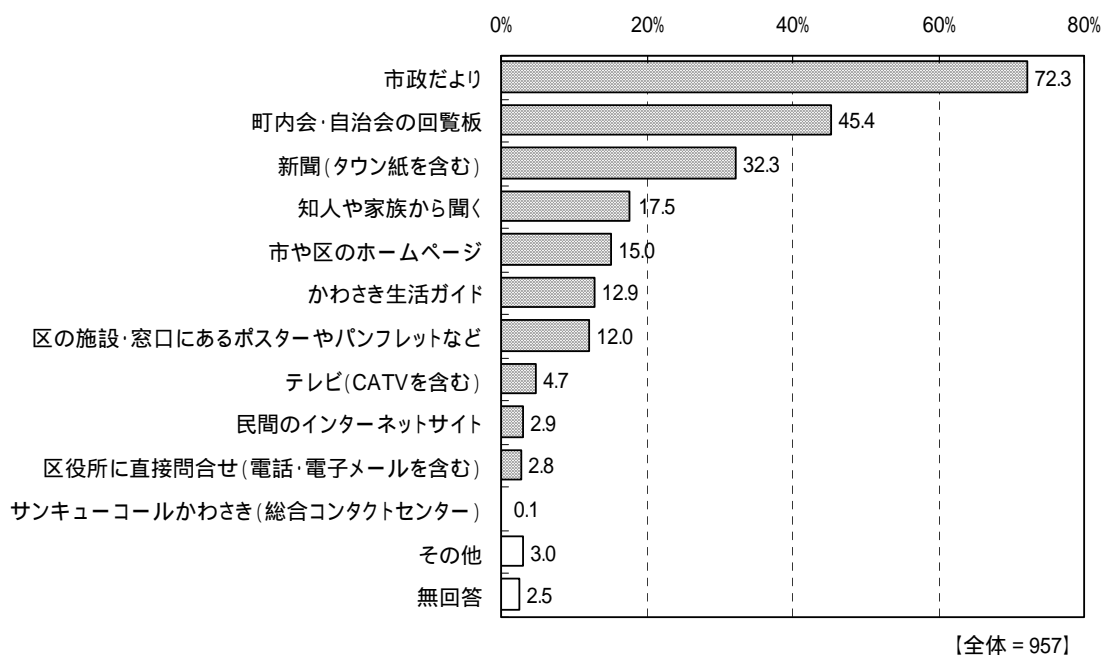
< 日常的な買い物をする店舗 >



3. 行政の情報について

川崎市や幸区などが提供する行政情報の入手先は、「市政だより」(72.3%)が最も多く、「町内会・自治会の回覧板」(45.4%)、「新聞(タウン紙を含む)」(32.3%)と続いている。

< 行政情報の入手先 > (複数回答)

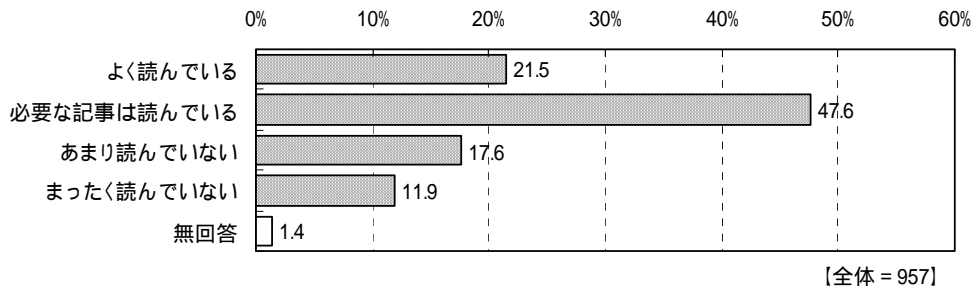


市政だよりを読む度合いは、「必要な記事は読んでいる」(47.6%)が最も多く、次いで「よく読んでいる」(21.5%)が続いており、合わせて69.1%の回答者が、定期的にあるいは必要に応じて「読んでいる」という結果になった。

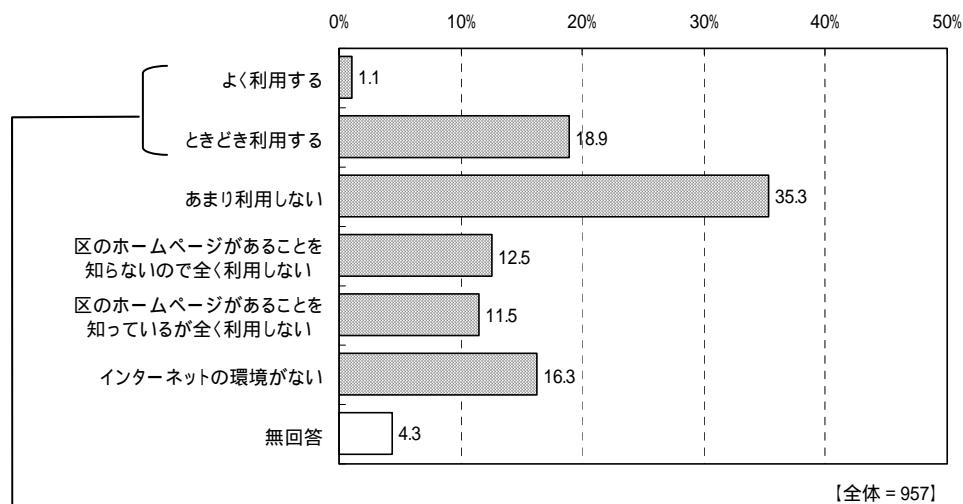
区のホームページの利用は、「あまり利用しない」(35.3%)が最も多く、次いで「ときどき利用する」(18.9%)、「インターネットの環境がない」(16.3%)と続いている。

区のホームページの得たい情報の見つけやすさでは「やや満足」(42.7%)が高く、次いで「どちらともいえない」(39.1%)が続いている。

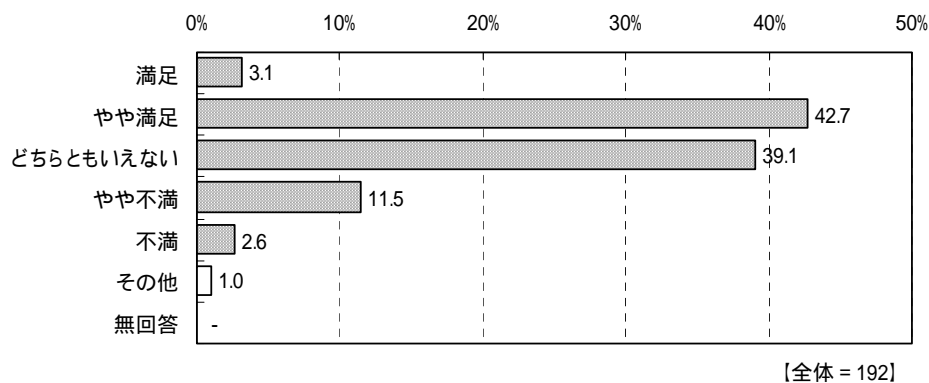
< 『市政だより』を読む度合い >



< 区のホームページの利用 >



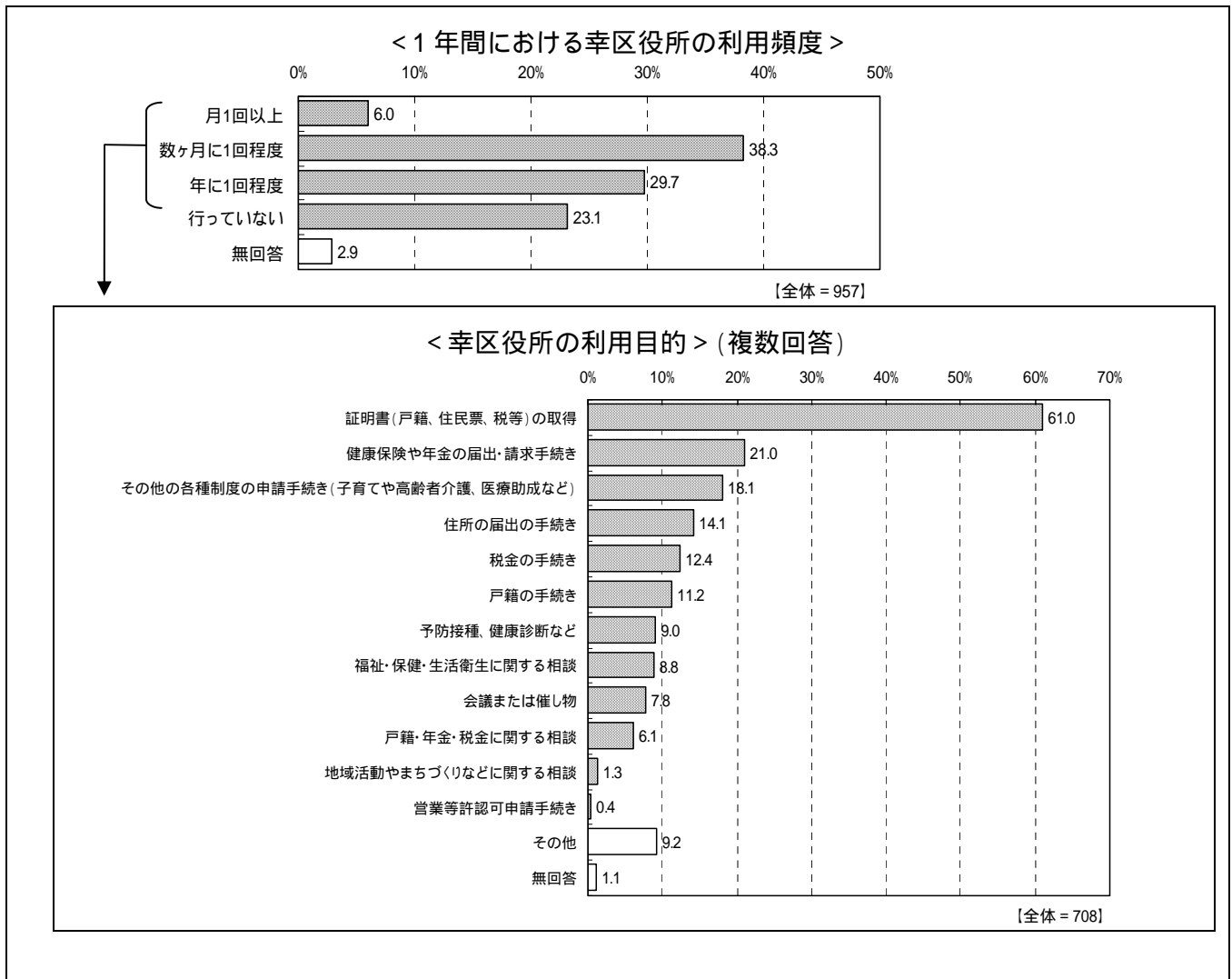
< 区のホームページの情報の見つけやすさ >



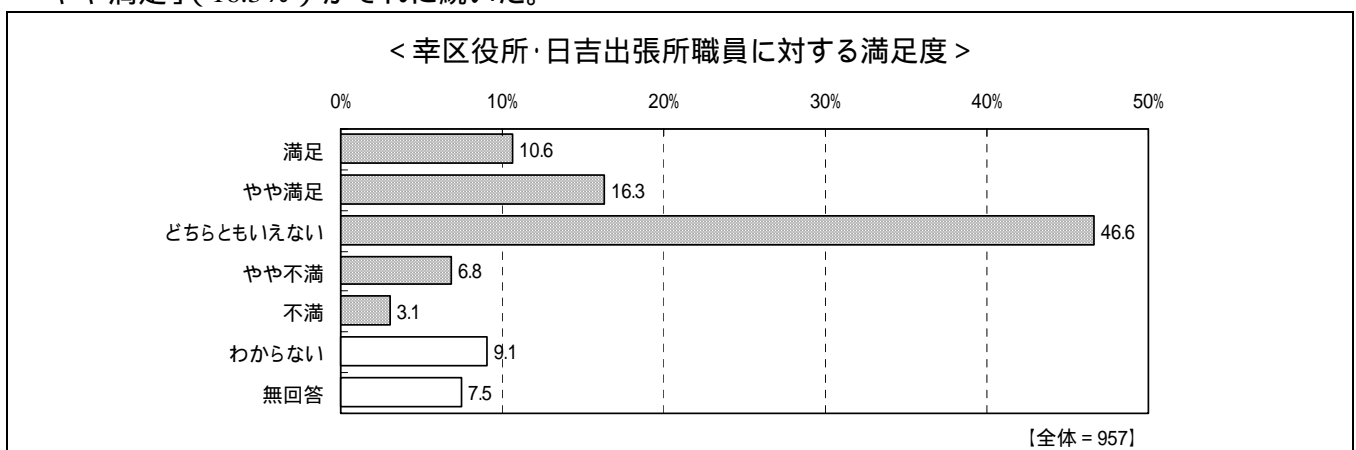
4. 幸区役所や日吉出張所との関わりについて

1年間における幸区役所の利用頻度は、「数ヶ月に1回程度」(38.3%)が最も多く、「年に1回程度」(29.7%)と続いた。「行っていない」は23.1%で、「月1回以上」の利用は6.0%となっている。

利用目的としては、「証明書(戸籍・住民票・税等)の取得」(61.0%)が最も多く、2位以下は「健康保険や年金の届出・請求手続き」(21.0%)、「その他の各種制度の申請手続き」(18.1%)、「住所の届け出の手続き」(14.1%)、「税金の手続き」(12.4%)と続いている。

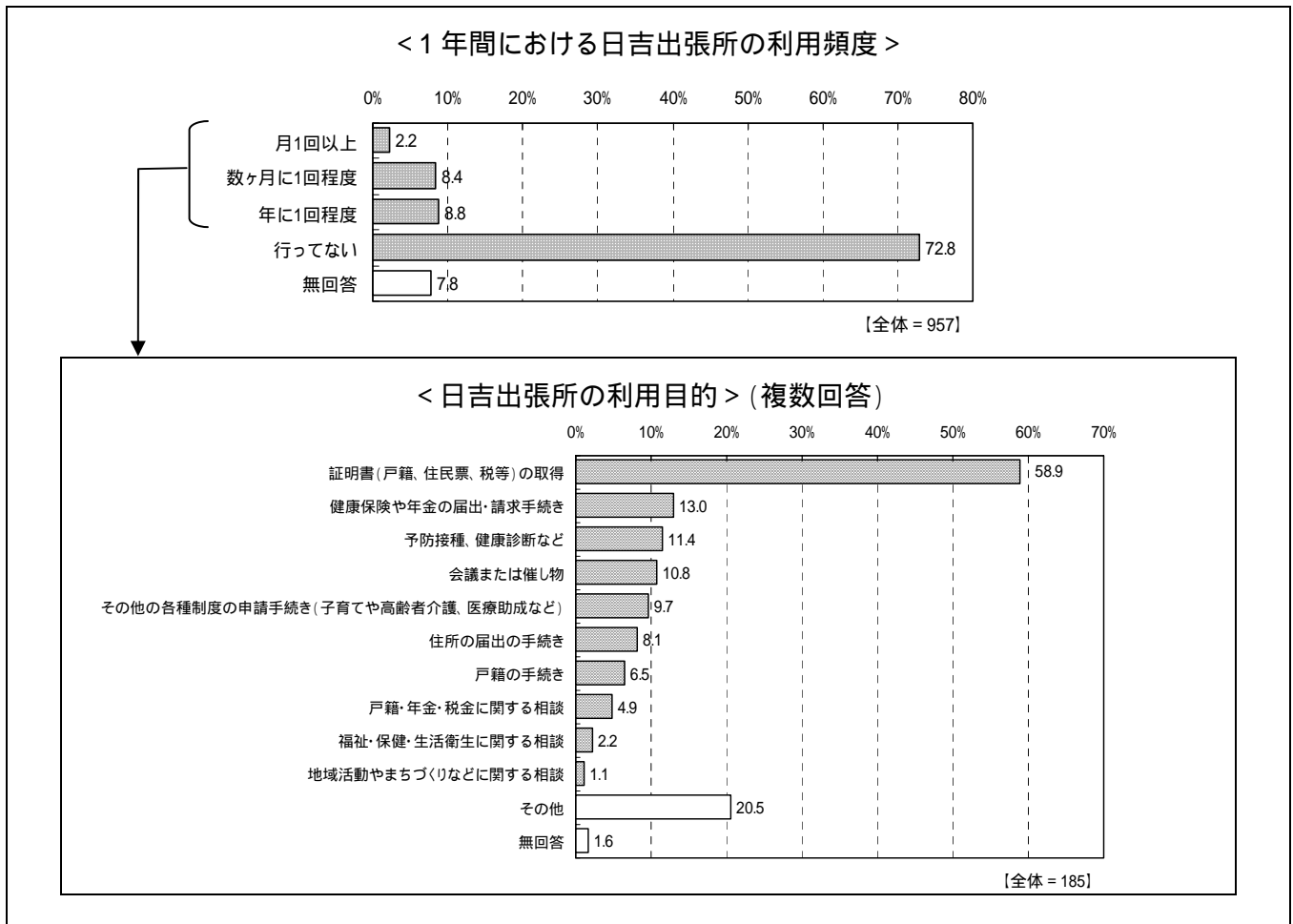


幸区役所・日吉出張所職員の対応に対する満足度では「どちらともいえない」(46.6%)が最も高く、「やや満足」(16.3%)がそれに続いた。

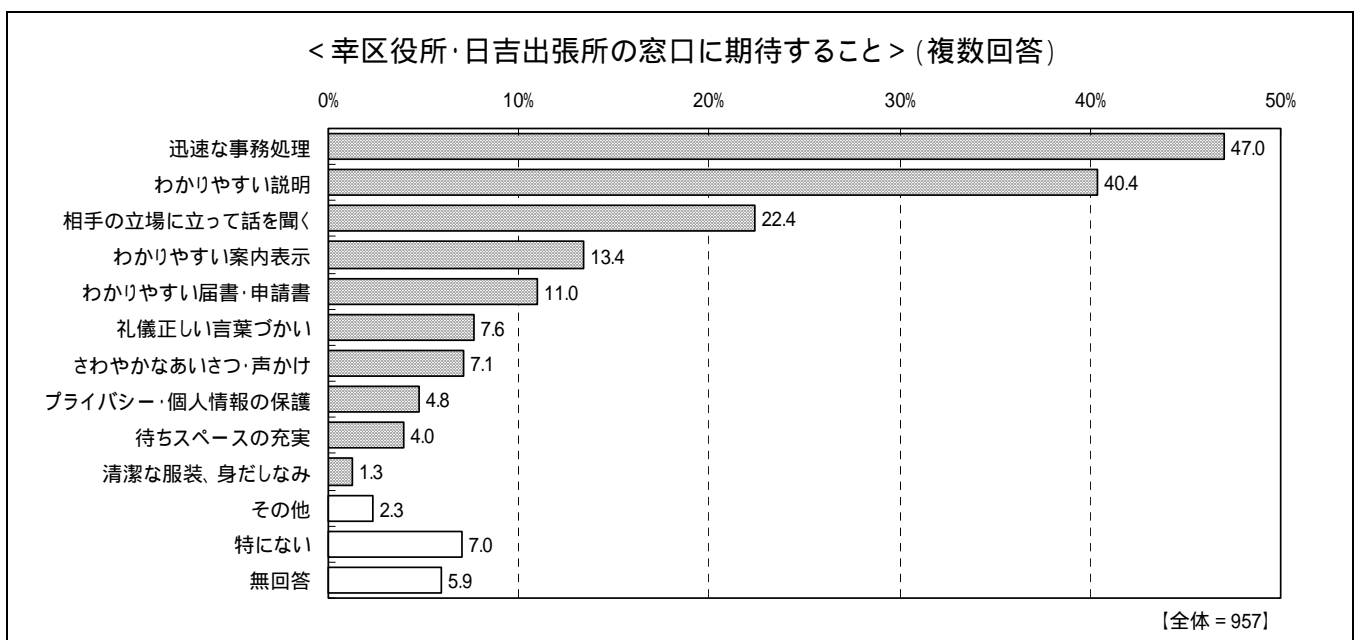


1年間における日吉出張所の利用頻度は、「行っていない」(72.8%)が最も多く、「年に1回程度」(8.8%)、「数ヶ月に1回程度」(8.4%)となり、「月1回以上」の利用は2.2%となっている。

利用目的としては、「証明書(戸籍・住民票・税等)の取得」(58.9%)が最も多く、2位以下は「健康保険や年金の届出・請求手続き」(13.0%)、「予防接種、健康診断など」(11.4%)、「会議または催し物」(10.8%)と続いている。



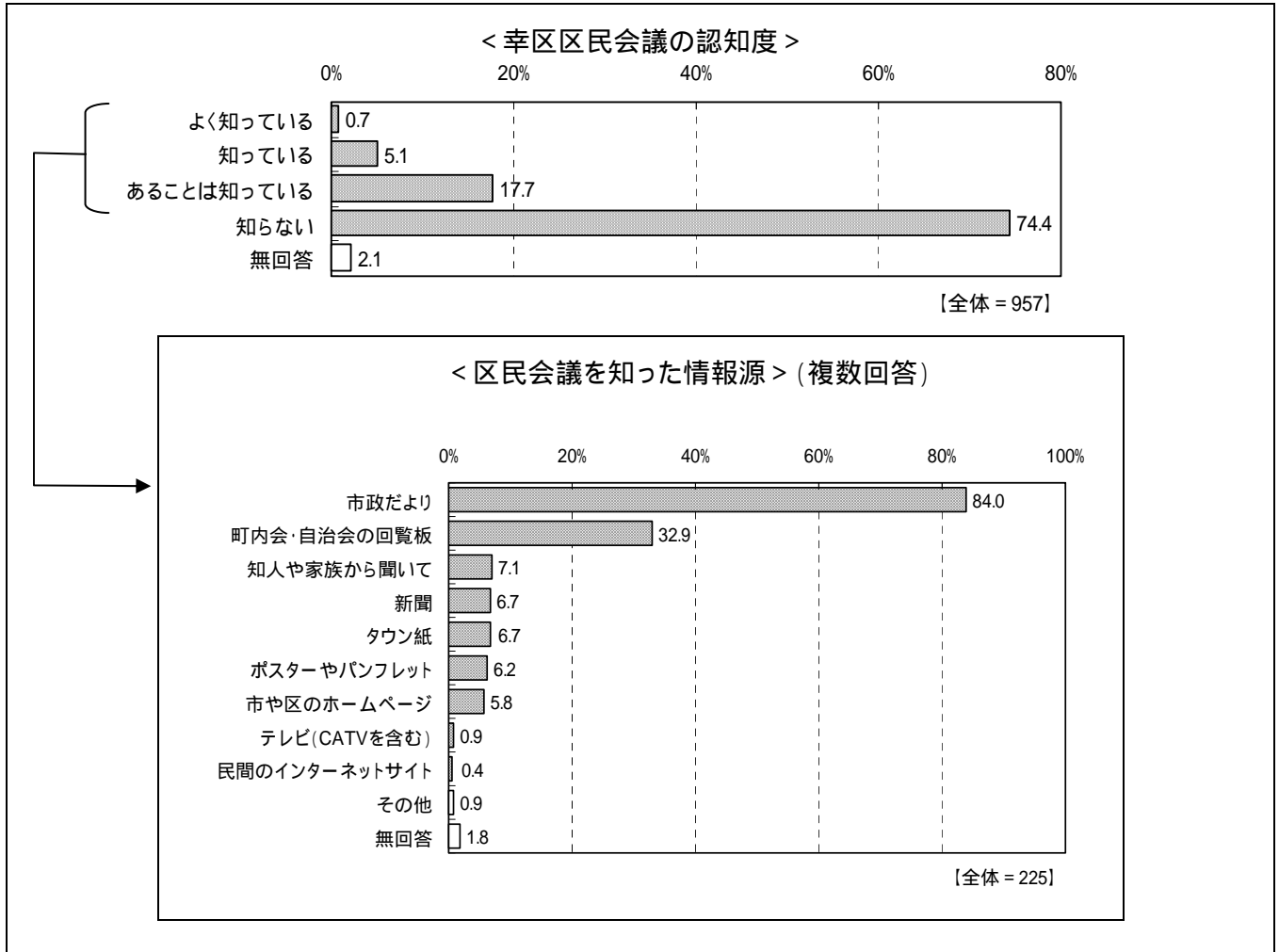
窓口にて期待することでは「迅速な事務処理」(47.0%)が最も多く、次いで「わかりやすい説明」(40.4%)、「相手の立場に立って話を聞く」(22.4%)と続いている。



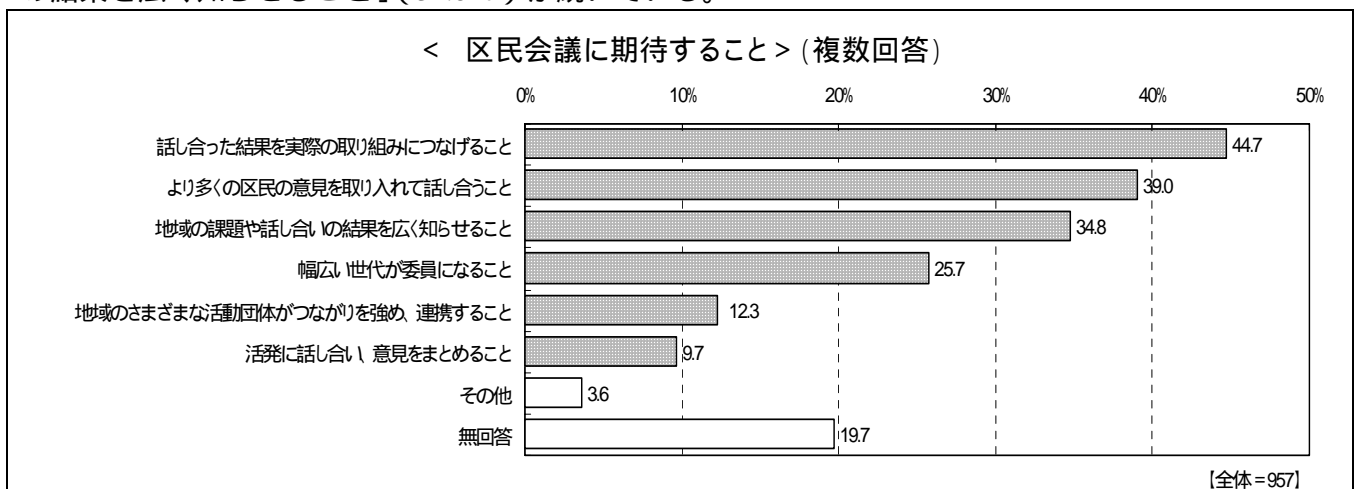
5. 幸区区民会議について

幸区区民会議については、「知らない」(74.4%)が最も多く、次いで「あることは知っている」(17.7%)、「知っている」(5.1%)、「よく知っている」(0.7%)と、『知っている』は23.5%となった。

区民会議を知った情報源は、「市政だより」(84.0%)が最も多く、次いで「町内会・自治会の回覧板」(32.9%)と行政情報の入手先(「3.行政の情報について」参照)と同様の傾向を示している。

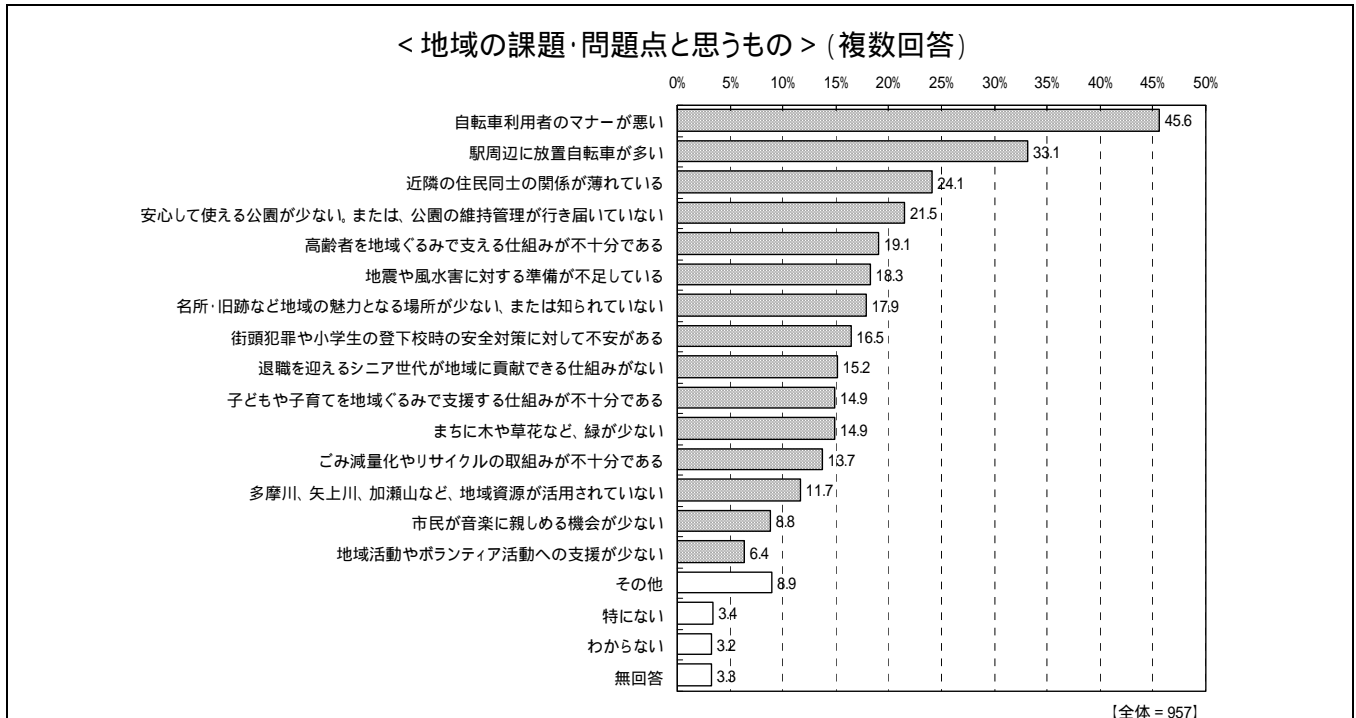


幸区区民会議に期待することでは「話し合った結果を実際の取り組みにつなげること」(44.7%)が高く、次いで「より多くの区民の意見を取り入れて話し合うこと」(39.0%)、「地域の課題や話し合いの結果を広く知らせること」(34.8%)が続いている。

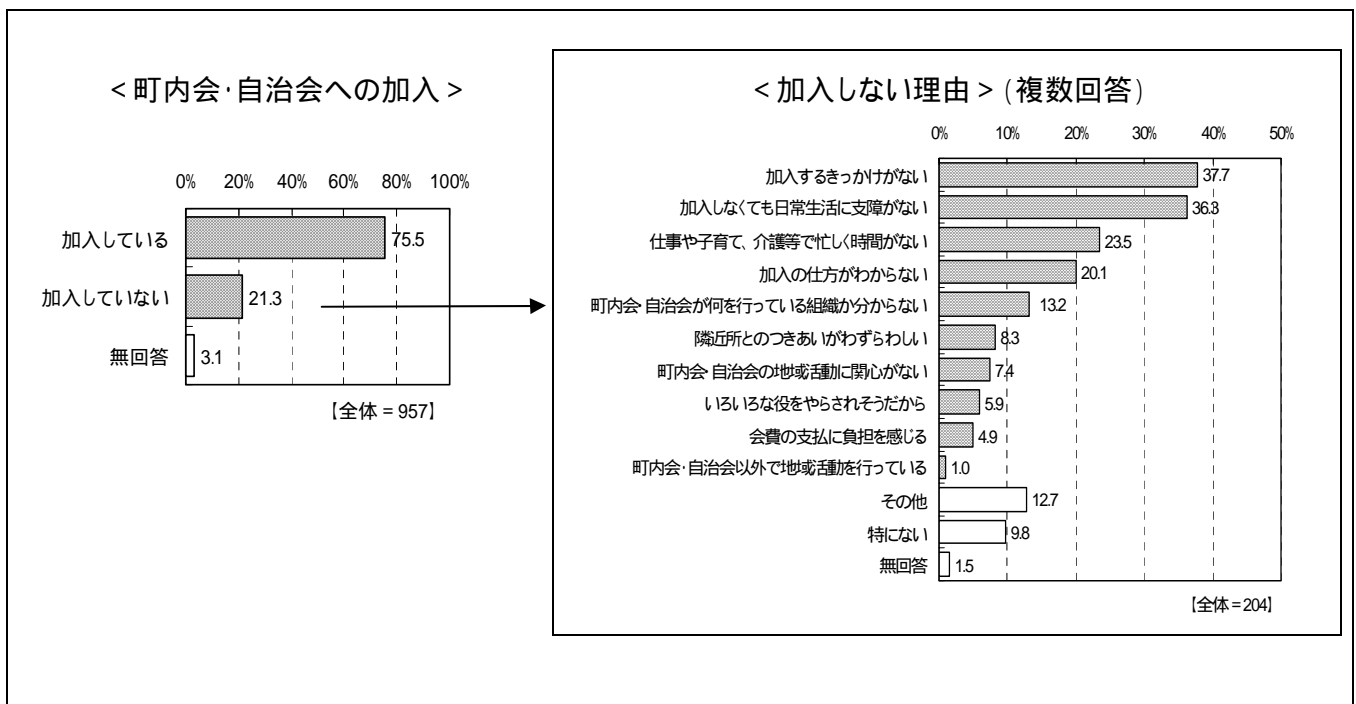


6. 地域の活動や課題について

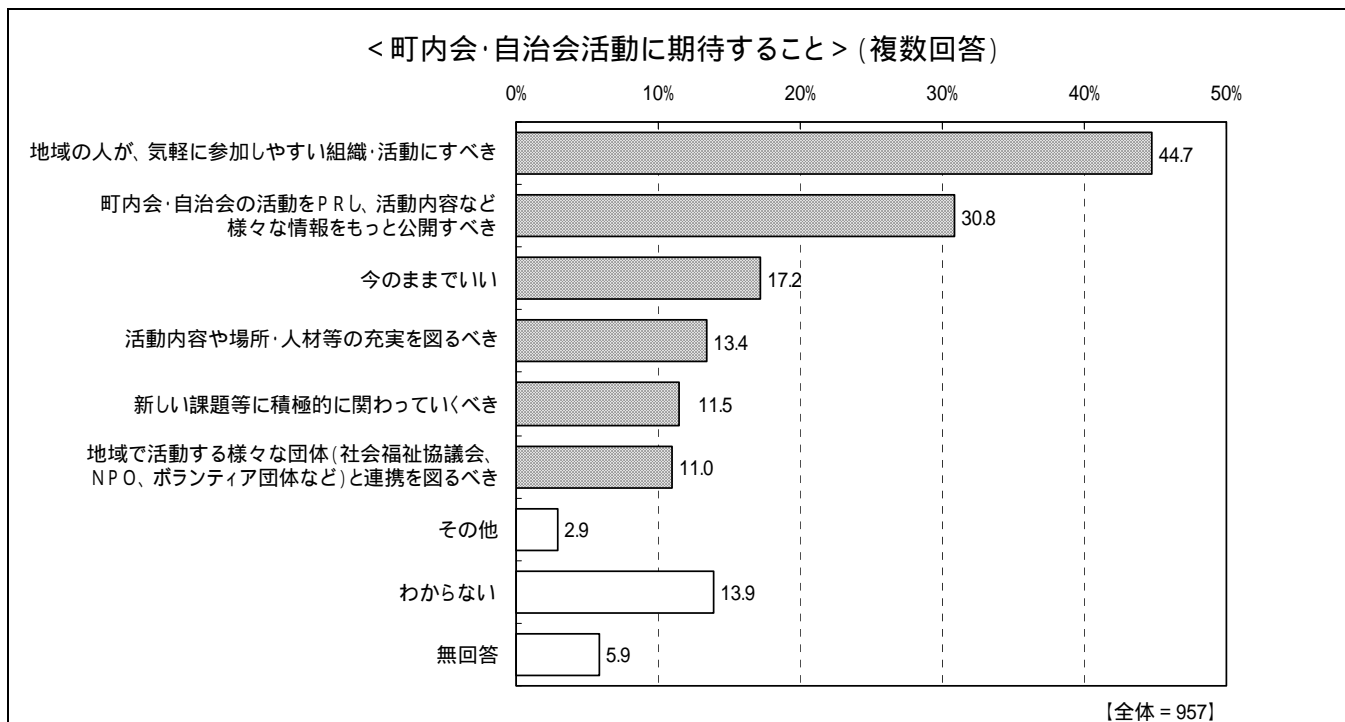
地域の課題・問題点と思うものは、「自転車利用者のマナーが悪い」(45.6%)、「駅周辺に放置自転車が多い」(33.1%)と、自転車利用に関する課題・問題点が1位、2位を占めた。次いで「近隣の住民同士の関係が薄れている」(24.1%)、「安心して使える公園が少ない、または公園の維持管理が行き届いていない」(21.5%)、「高齢者を地域ぐるみで支える仕組みが不十分である」(19.1%)、「地震や風水害に対する準備が不足している」(18.3%)が続いている。



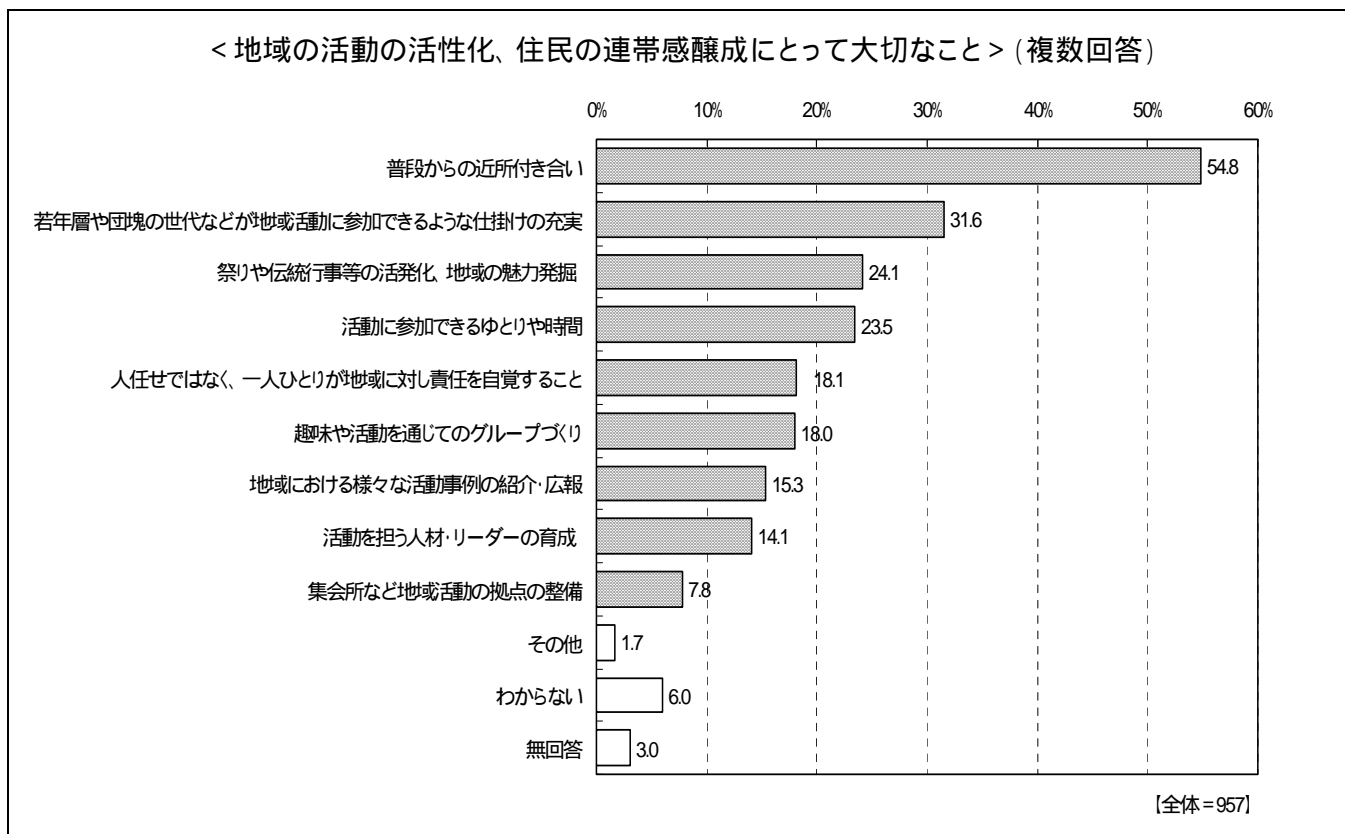
町内会・自治会への加入については「加入している」(75.5%)が全体のほぼ3/4を占め、一方の「加入していない」は21.3%となった。加入していない理由としては、「加入するきっかけがない」(37.7%)、「加入しなくても日常生活に支障がない」(36.3%)、「仕事や子育て、介護等で忙しく時間がない」(23.5%)、「加入の仕方がわからない」(20.1%)と続いている。



町内会・自治会活動に期待することは、「地域の人々が、気軽に参加しやすい組織・活動にすべき」(44.7%)、「町内会・自治会の活動をPRし、活動内容など様々な情報をもっと公開すべき」(30.8%)といった意見が上位を占めている。



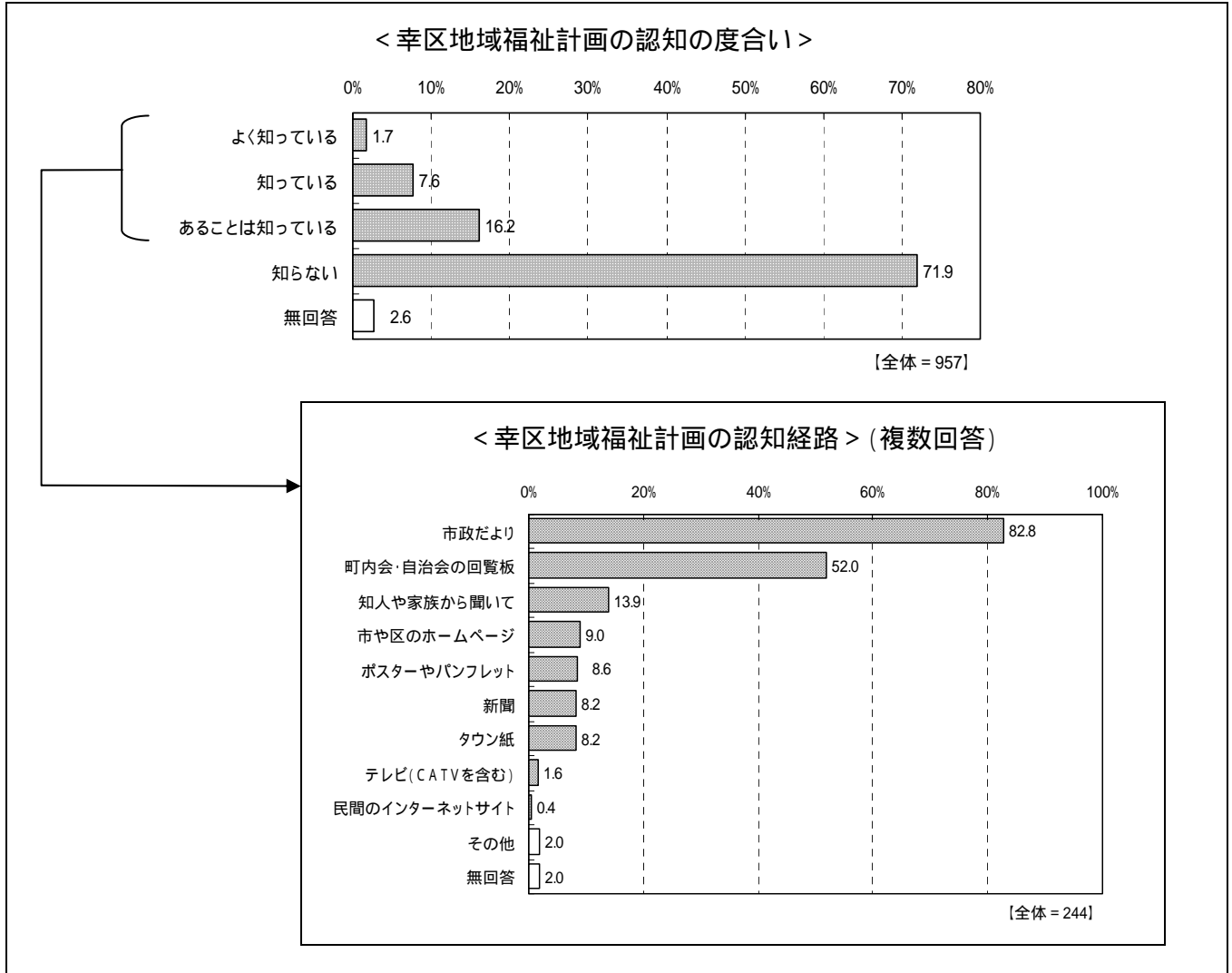
地域の活動の活性化、住民の連帯感醸成にとって大切なことは、「普段からの近所付き合い」(54.8%)が最も多く、「若年層や団塊の世代などが地域活動に参加できるような仕掛けの充実」(31.6%)、「祭りや伝統行事等の活発化、地域の魅力発掘」(24.1%)、「活動に参加できるゆとりや時間」(23.5%)と続いている。



7. 幸区地域福祉計画について

幸区地域福祉計画については、「知らない」(71.9%)が最も多く、「あることは知っている」(16.2%)、「知っている」(7.6%)、「よく知っている」(1.7%)と、『知っている』は25.5%となった。

また、幸区地域福祉計画を知った情報源は、「市政だより」(82.8%)が最も多く、次いで「町内会・自治会の回覧板」(52.0%)、「知人や家族から聞いて」(13.9%)と続いている。



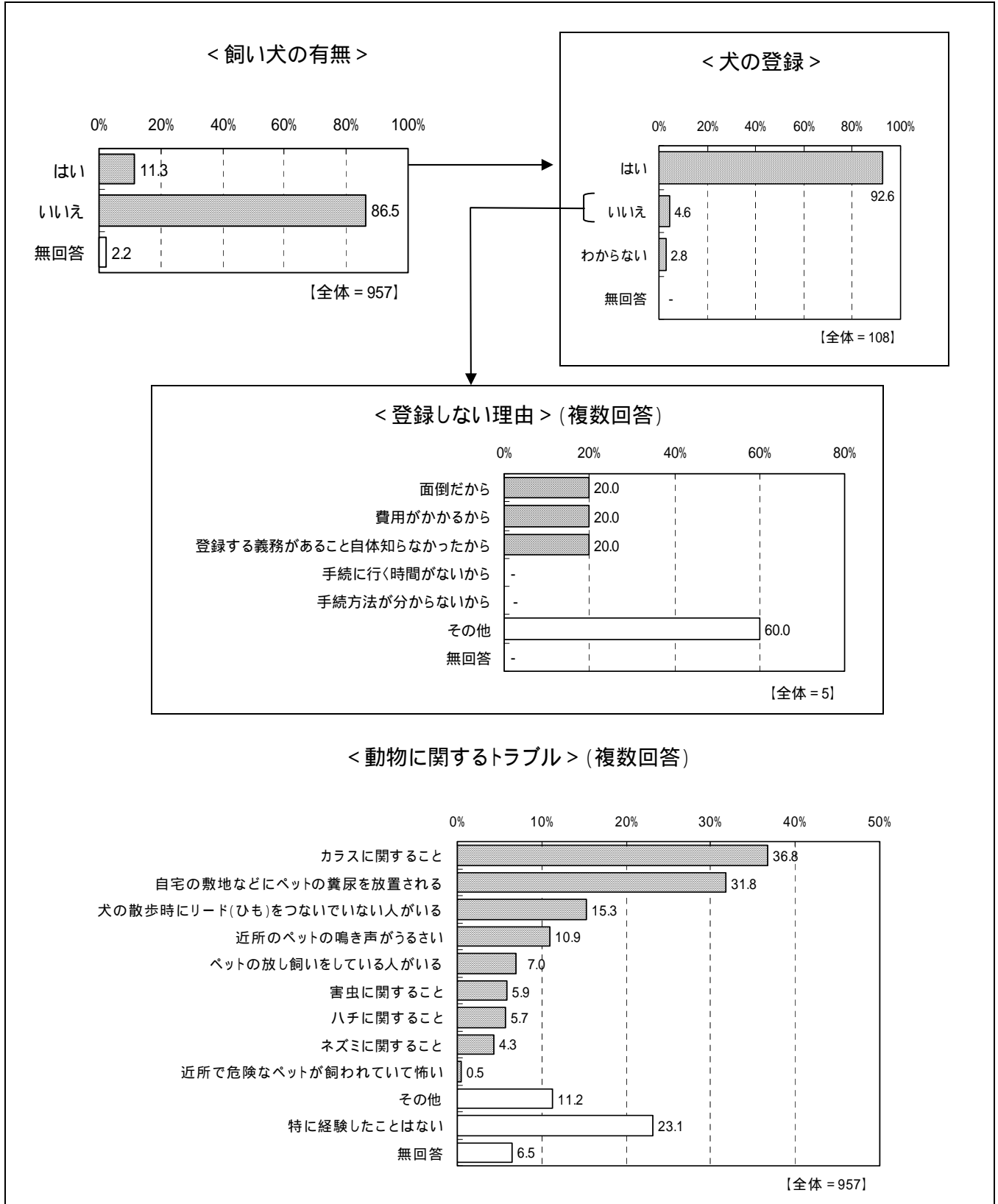
8. 動物について

飼い犬の有無を尋ねたところ「はい」が11.3%、「いいえ」が86.5%となった。

また、犬の登録をしているかでは、「はい」が92.6%、「いいえ」が4.6%、「わからない」が2.8%となった。

登録をしない理由として「面倒だから」、「費用がかかるから」、「登録する義務があること自体知らなかったから」が挙げられている。

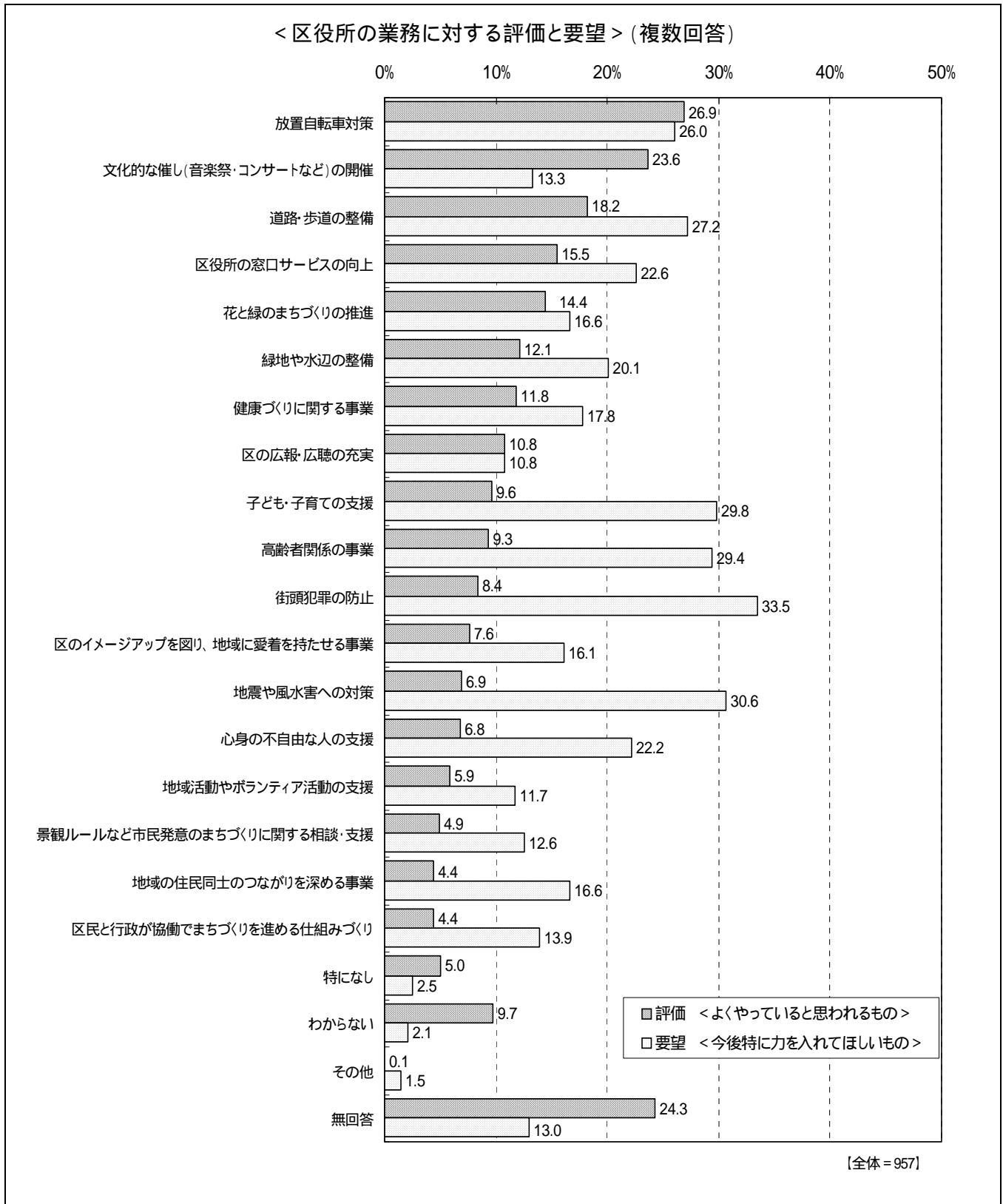
動物に関するトラブルでは「カラスに関すること」(36.8%)が最も多く、次いで「自宅の敷地などにペットの糞尿を放置される」(31.8%)が続いている。



9. 区政への評価と要望について

区役所の業務に対する評価は、「放置自転車対策」(26.9%)が最も高く、次いで「文化的な催し(音楽祭・コンサートなど)の開催」(23.6%)、「道路・歩道の整備」(18.2%)、「区役所の窓口サービスの向上」(15.5%)、「花と緑のまちづくりの推進」(14.4%)となっている。

区役所の業務に対する要望としては、「街頭犯罪の防止」(33.5%)が最も多く、次いで「地震や風水害への対策」(30.6%)、「子ども・子育ての支援」(29.8%)、「高齢者関係の事業」(29.4%)、「道路・歩道の整備」(27.2%)となっている。



幸区区民アンケート調査 < 概要版 >

平成22年2月

発行 幸区役所企画課

〒212-8570 川崎市幸区戸手本町1丁目11番地1

TEL 044-556-6612(直通)

FAX 044-555-3130